

平成26年度第2回事前評価結果一覧表（8月実施分）

番号	課名	評価対象事業名称	事業の概要	2次評価	事業の方向性	概算事業費
1	土木課	町道白浜線改良事業	(全体計画) ・改良延長 L=999.0m 幅員 W=5.2m ・全体事業費 C=64,000千円 ・排水工 L=990.0m ・舗装工 A=5,000㎡ ・防護柵設置工 L=650.0m ・測量 L=999.0m	本事業は国補助金を活用し、世界遺産登録に向け利用者の安全確保のため実施するものであり必要と判断する。	計画どおりに事業を実施する	4,000千円
2	消防本部	北魚目救急分遣隊光ケーブル整備事業	・町地域イントラネット整備施設を町立新魚目診療所から、北魚目救急分遣隊まで回線延長工事を行う。	事業を行うことにより経費を大幅に削減でき、住民の生命、財産を守るため及び迅速で確実な機能を充実させるため必要な事業であると判断する。	計画どおりに事業を実施する	1,294千円
3	財産管理課	本庁前誘導ブロック敷設事業	・国道から本庁玄関前までに誘導ブロックを敷設する。	利用者（視覚障害者）が安心して来庁できる環境を整備することは、施設の安全性や快適性の向上を図るうえで必要な事業であると判断する。実施にあたっては、釣道川河川工事に伴う国道の歩道改修が見込まれるので、その調整を行ったうえで実施すること。	事業内容を見直して事業を実施する	484千円
4	水産課	日島漁港階段設置事業	・臨港道路から海岸に昇降する階段を1箇所設置する。	漁業者の利便性を図り、作業の安全性を確保するうえで必要であると判断する。	計画どおりに事業を実施する	800千円
5	水産課	神部地区自動魚メ機設置事業	・神部漁業協同組合では、ブリ類、マグロといった養殖漁業を主として行っているが、出荷時において魚をメる作業は現在手作業となっている。繁忙期においての出荷量とフェリーを利用したトラック便での出荷体制等により、作業時間の短縮化を余儀なくされ、漁業者の高齢化に伴い作業員の確保も困難となってきた。このため、自動メ機を設置する漁協に対し補助金を交付する。 →自動魚メ機1台設置 魚メ能力2,400~3,000尾/時間	自動魚メ機を設置することにより、作業の効率性の向上が図られ、養殖魚の鮮度維持が保たれるなど漁協の経営改善に寄与するものと判断する。	計画どおりに事業を実施する	1,350千円